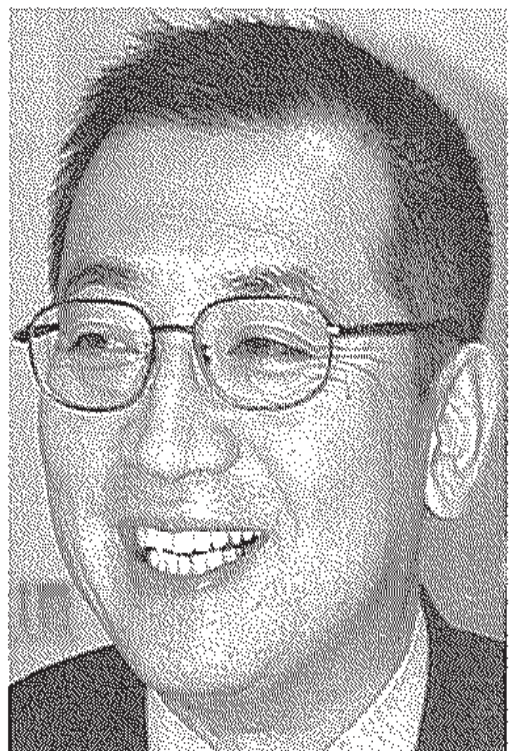


2007年 (平成19年) 12月15日 (土曜日)

矢巾町の地酒「徳丹城別将」を企画した  
NPO法人理事長

水 本 孝 さん



住民の力で矢巾を誇れる町にしたい

水清建設専務を経て01年に社長。06年NPO法人やはば協働センターを設立し理事長。矢巾町西徳田5の201の2。47歳。同町生まれ。

限定千百本は半月ほどでほぼ完売。急ぎよ年内に二回目の仕込みを行い、一月下旬以降に千五百本を追加販売することを決めた。矢巾町初の地酒誕生に寄せる町民の期待と喜びの大きさを物語る。「女性も飲みやすいすっきりした味になった。さらに香り高い芳醇な酒を目指す」と冷静に次を見据える。

特定非営利活動法人(NPO法人)やはば協働センター企画の純米吟醸酒。特産加工品の少ない矢巾町で、良質な米を生かした地酒を造ろうと事業の総括管理を担った。NPO法人による酒造りは県内では例がなく、成功例として町外からも注目されそうだ。「徳丹城別将」と名付けた背景には、幼少から暮らす同町徳田地区への愛着がある。国指定史跡の徳丹城跡は歴史的価値に評価が高

まる一方、観光資源として利活用は進んでいない。「史跡周辺を整備し、地域が活性化されるのが住民の願い。酒を手にとった人にまず史跡を知ってほしい」と思いを込める。

建設会社の二代目社長。NPOでは福祉施設職員、若手商業者、町民劇場関係者ら多様な職種、団体の町民と住民主導の町づくりへ汗を流す。

妻優子さん、小学四年生の長女加奈子さんと三人暮らし。多忙な中、家族一緒に年に四、五回出掛ける映画鑑賞が楽しみ。今回は品薄になり実現しなかったが、年明け販売分は実父と義父に自ら手掛けた酒を届け、杯を交わすつもりだ。

(鈴木 義孝)